

令和 7 年度第 1 回寝屋川市文化振興会議 会議録

- 1 日時
令和 7 年 8 月 1 日（金）10:00 から 10:35 まで
- 2 場所
寝屋川市役所 本庁舎 特別会議室 I
- 3 出席委員
赤澤会長、油利副会長、伊藤委員、金谷委員、砂原委員、浦部委員
- 4 欠席委員
なし
- 5 事務局
三宅理事、山口課長、河端係長、原本、古川
- 6 傍聴者
なし
- 7 会議次第
 - (1) 開会
会長挨拶
 - (2) 議案
 - ア 寝屋川市の文化振興事業について
 - ・文化・芸術活動の活性化
 - ・文化振興のための環境整備
 - ・文化財・地域文化資源の保護と活用体制づくり
 - イ その他
 - (3) 閉会
会長挨拶

会議録

(1) 開会

事務局から概要の説明を行った後、会長から御挨拶をいただいた。

(2) 案件

ア 寝屋川市の文化振興事業について

事務局から資料に基づき説明を行った後、各委員から意見聴取を行った。

・文化・芸術活動の活性化

質問：寝屋川ミュージックデーの参加校が昨年度から1校増えているが、どの学校か。

回答：北かわち阜が丘高等学校である。昨年度は部員数が足りず参加できなかった。

質問：寝屋川ミュージックデーの開催日が例年日曜日であったのに対し、今年は土曜日であった。来年度以降はどうなるのか。

回答：例年、海の日（祝日）のある3連休の中日に開催してきたが、教職員の働き方改革により、負担軽減を図る必要があった。出演校や保護者へのアンケート、中学校校長会とも話を行い、3年越しで土曜日開催となった。また、昨年度は日曜日開催であったが、英検と日程が重なるという問題が発覚したこともあり、日曜日に戻す予定はない。年々生徒数が減ってきている中で開催できている事業であり、灯を消すことなく、継続して実施していきたい。

質問：「囲碁・将棋活動推進事業」で呼ばれるプロ棋士とはどのような方か。また、決算額のうち、やはり報償費が多くを占めているのか。

回答：寝屋川市にゆかりのある方を呼ぶようにしている。決算額については、囲碁・将棋の普及を目的としている活動のため、報償費よりも会場使用料が多くを占めている。

・文化振興のための環境整備

質問：地域交流センターの稼働率の傾向はどのような状況か。

回答：微増傾向である。

質問：市民ギャラリーが使えなくなったことで、地域交流センターの利用数は増えていないか。

回答：稼働率は令和6年度実績で微増となっている。今年度に入ってから「増えている」という報告を耳にしている。

質問：市民会館の管理運営事業はどのような状況か。

回答：所管が市民活動振興室のため記載していない。ただ、令和6年度から同じ部の所属となったため、寝屋川文化芸術祭において市民会館で自主事業を実施するなど、文化スポーツ室の事業で積極的に市民会館を活用し、連携を強めている。

質問：今年の文化芸術祭でダンスイベントはあるのか。

回答：1日目に市民会館でダンスイベントの開催を予定している他、別部署の管轄であるが、「青年祭」でもダンスイベントが行われる予定である。

・文化財・地域文化資源の保護と活用体制づくり

質問及び意見等無し。

・全般

意見：各事業の予算・決算のみだけではなく、中長期計画のようなものを知りたい。

質問：事業のうち、令和6年度の決算額に比べ、令和7年度の予算額が大きく変化している事業があるが、その理由は。

回答：「寝屋川文化芸術祭」は昨年度に特別事業として日本センチュリー交響楽団演奏会を実施したため。「地域交流センター（アルカスホール）管理運営事業」についてはエネルギーコストの上昇に係る補てんを行ったため。「池の里市民交流センター管理運営事業」は今年度アリーナへの空調設置に向けた設計業務を実施予定であるため。「市内出土遺物整理」については埋蔵文化財資料館の空調設備の故障対応のためである。

質問：事業の数及び項目が以前から変化しているものはあるのか。

回答：数、項目共に変更なしである。

イ その他

なし

(3) 閉会

会長から御挨拶をいただいた。